



厚生労働省

第3回「保育の現場・職業の魅力向上検討会」（令和2年7月10日）

全国保育協議会 提出資料

全国保育協議会

副会長 村松幹子

（全国保育士会会長、たかくさ保育園園長）

常任協議員 北野久美

（全国保育士会副会長、あけぼの愛育保育園園長）

1

1. 全国保育士会とは



- 全国保育士会は、昭和31年に「子どもの真の幸福を守るために保母は手をつなぎ、たちあがろう！」という呼びかけに賛同した人たちの手によってつくられ、現在では18万7千人余を会員とする（令和2年3月時点）、わが国最大の保育士・保育教諭等の組織。
- 下記の4つを事業の柱としている。
 1. 子どもが豊かに育つ、より質の高い保育の実現のための取り組み
 2. 専門性の向上を実現するための環境構築の取り組み
 3. 養護と教育が一体となった保育に対する保護者・地域社会からの理解促進のための取り組み
 4. 災害被災地保育士の支援
- 令和2年度は重点事業として、「保育の魅力の発信」に取り組む。
 - 保育の魅力ややりがいを発信するとともに、新型コロナウイルス感染症により学校等が休業となるなか、社会維持のためのライフラインとして機能した保育について、誇りある仕事としての魅力を発信し、保育士の仕事について、正しく理解できるような情報提供を保育現場の立場から進めていく。

2

2. 保育士がやりがいを持って、長く働き続けられるような保育所の取組例



● 保育士のやりがい、魅力とは

- ・北九州市保育士会において「保育士のやりがいや魅力」についてアンケート調査を実施（記述式）。
- ・「経験年数3～5年程度」（47名）、「経験年数7～10年程度」（36名）「主任保育士」（63名）、「施設長」（30名）の計176名が回答。
- ・質問項目は10項目。
 - 「保育士になって良かったこと」「大変なことや困っていること」
 - 「今、迷っていること」「嬉しかったこと、喜びを感じること」
 - 「今、頑張っていること」「元気に働くために心がけていること」
 - 「5年後、10年後どんな保育士になっていたいか」
 - 「コロナ禍で再認識したこと、気づいたこと」
 - 「保育士をめざす人たちに伝えたいこと」
 - 「地域社会や周囲の人に伝えたい保育の魅力とは」

3

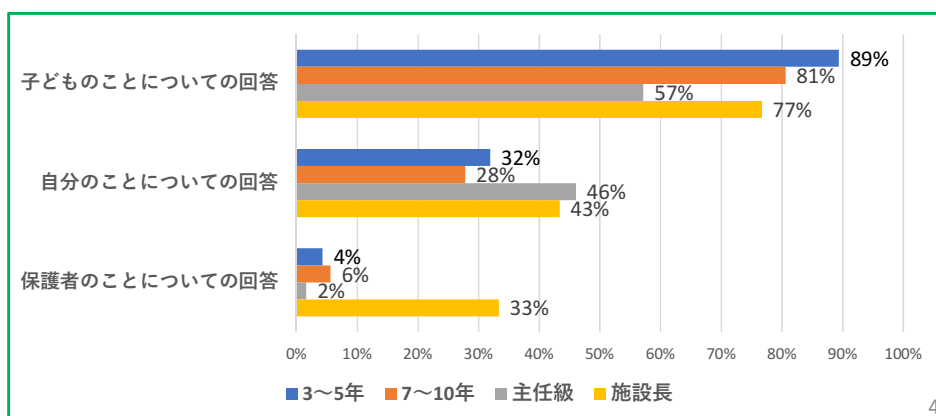
● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」



1. 保育士になって良かったこと

- ・「**子ども**のことについての回答」が多く、経験年数「3～5年」の保育士の約9割、経験年数「7～10年」の保育士の約8割が、**子ども**のことについて回答した。
- ・具体的な回答としては「**子どもの成長**を感じられること」「**子どもたちと信頼関係**が築けたと感じたこと」などが挙げられた。
- ・「自分のことについて」の具体的な回答としては、「**子どもとともに**保育士として成長できること」「**将来を担う子どもの根っこ**を育てる時期を担い、やりがいを感じられること」などが挙げられた。
- ・その他の具体的な回答は別添のとおり。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



4

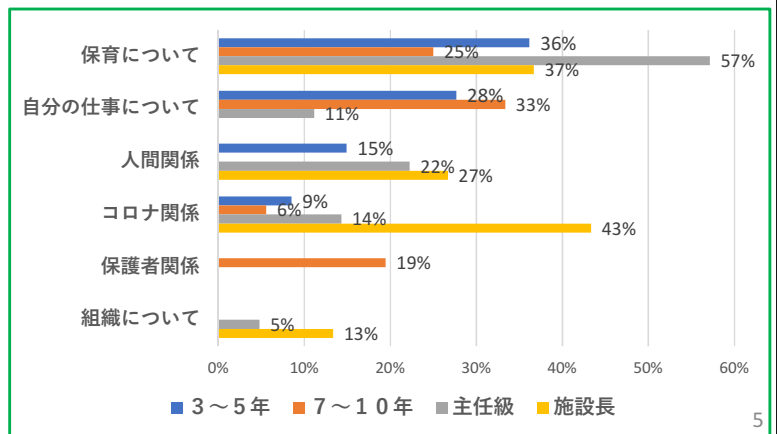


● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」

2. 大変なことや困っていること

- ・「3～5年」「7～10年」の保育士では、「保育について」「自分の仕事について」が多かった。「施設長」では「コロナ関係」が多かった。
- ・「保育について」の具体的な回答としては、「気になる子どもや支援が必要な子どもが増えてきている現状、支援の複雑化」「さまざまな家庭環境や保護者、子どもがいる中で、個々を十分に受け入れて寄り添いながら日々保育や保護者支援にあたること」などが挙げられた。
- ・「自分の仕事について」の具体的な回答としては、「書類も含め、仕事の量が多く、残業があること」が挙げられた。
- ・「コロナ関係」の具体的な回答としては、「コロナ禍で保護者と話をする時間がとりにくいので、信頼関係の構築、ともに子育てをしているという意識をもてるか不安」が挙げられた。
- ・その他の具体的な回答は別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



5

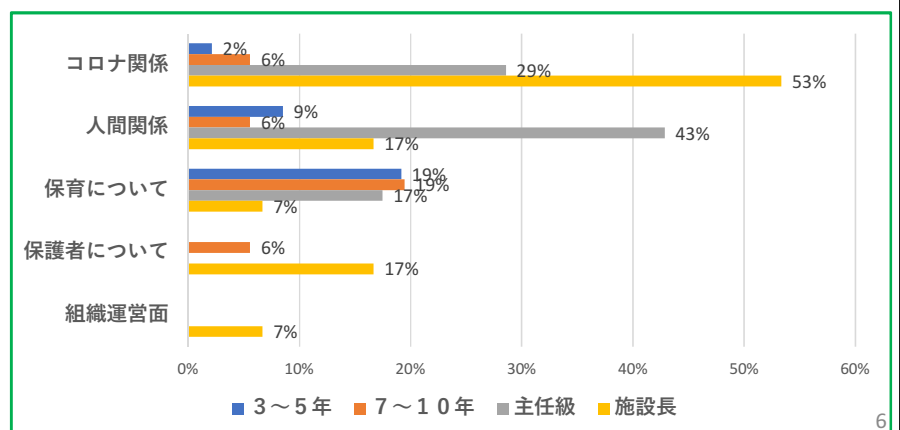
● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」



3. 迷っていること

- ・「3～5年」「7～10年」の保育士では「保育について」が多く、「主任保育士」では「人間関係」、「施設長」では「コロナ関係」が多かった。
- ・「保育について」の具体的な回答としては、「子どもへの関わり方、言葉かけや関わりが正しいのか分からない」「日々の保育一つひとつ」などが挙げられた。
- ・「人間関係」の具体的な回答としては、「職員間のチームワーク」「成長環境や価値観が異なる若い保育士たちをどう育てていくか」「自分の思いをどのように相手に伝えたらよいか」などが挙げられた。
- ・その他の具体的な回答は別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



6

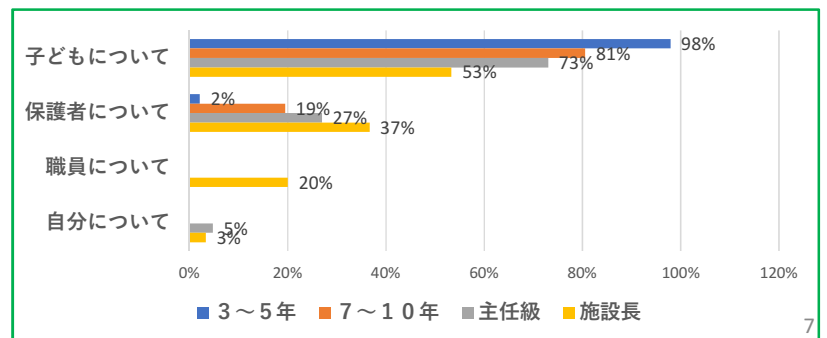


● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」

4. 嬉しかったことや喜びを感じること

- ・「子どもについて」が最も多かった。
- ・具体的な回答としては、「子どもたちの頑張っている姿、成長した姿を見られたこと」「子どもたちが『先生、大好き』と言ってくれること」「自分が立てた保育計画に、子どもが喜んで参加し、楽しんでいたこと」（保育士の誘導という事ではなく、見通しが出来たことへの喜び）「子どもが自分に対して心を開いてくれたこと」などが挙げられた。
- ・「保護者について」では、「保護者と子どもの成長を共有できたこと」「子育てに不安のあった保護者が、保育所で過ごす間に親として成長していく姿が見られたこと」などが挙げられた。
- ・その他の具体的な回答は別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



7

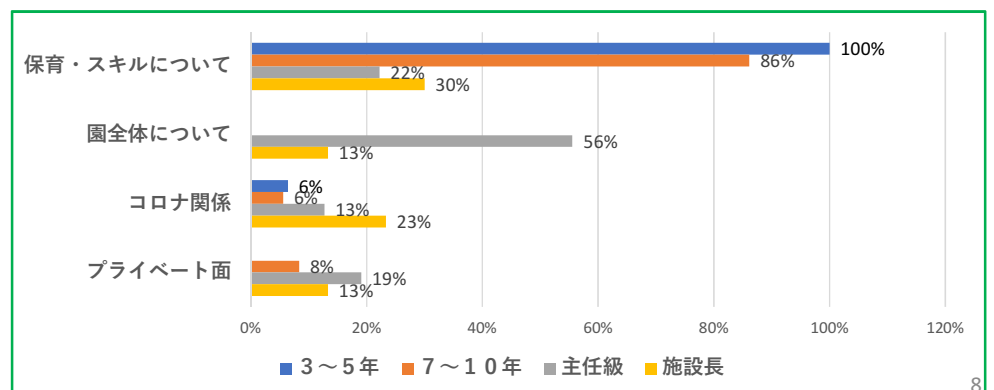
● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」



5. 頑張っていること

- ・「3～5年」「7～10年」の保育士では「保育・スキルについて」が多かった。「主任保育士」では「園全体について」が多かった。
- ・「保育・スキル」についての具体的な回答としては、「信頼関係の構築」「ひとり一人への丁寧な関わり」「子どもが主体的、意欲的に活動でき、安心できる保育環境づくり」「子どもたちや保護者を笑顔にできる日々の積み重ね」などが挙げられた。
- ・「園全体」では、「意欲的に働ける職場づくり」「職員育成」のほか、「保育所全体の環境・保育見直し」などが挙げられた。
- ・その他の具体的な回答は別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



8

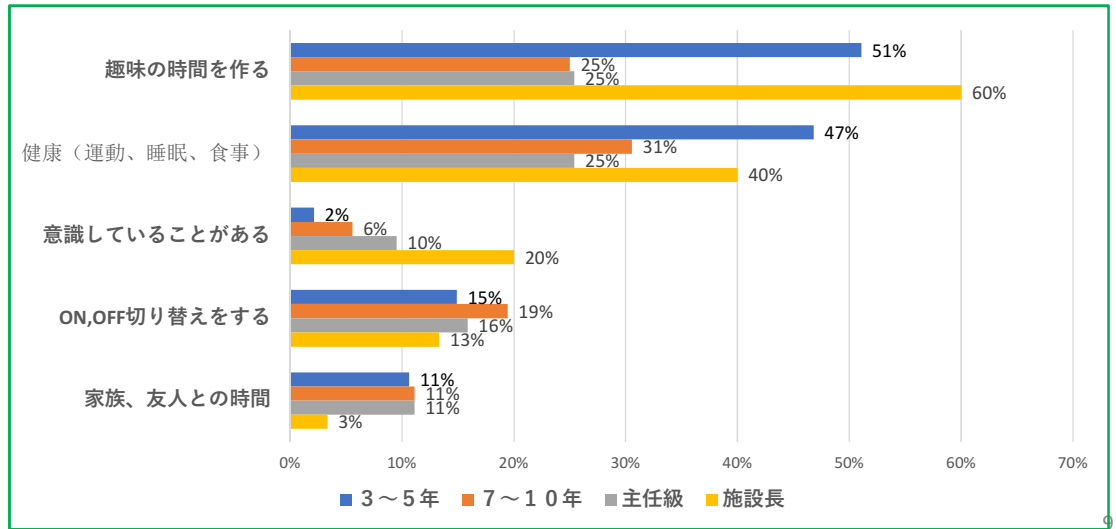


● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」

6. 元気に働くために心がけていること

- ・「趣味の時間を作る」「健康（運動・睡眠・食事）」が多かった。
- ・具体的な回答は 別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



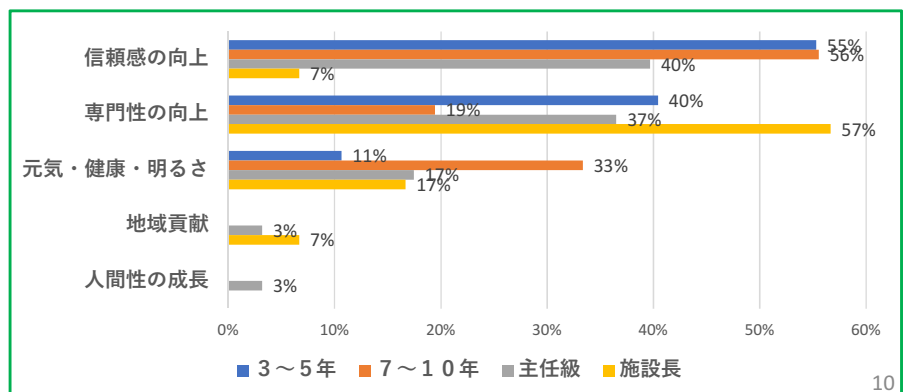
● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」



7. 5年後、10年後、どんな保育士になりたい

- ・「3～5年」「7～10年」の保育士では「信頼感の向上」が、また、「専門性の向上」も多かった。
- ・「信頼感の向上」についての具体的な回答としては、「信頼される保育士」「子ども、保護者、職員と共感したり、気持ちに寄り添える保育士」が挙げられた。
- ・「専門性の向上」では、「3～5年」の保育士では「どの年齢でも自信をもって落ち着いて保育ができるようになりたい」との回答が多く、「施設長」では「今の立場でもスキルを身につけ、元気に仕事ができるよう心がけたい」といった回答のほか、「保護者、職員が気軽に相談できる保育士」などが挙げられた。
- ・その他、地域の子育て支援などを充実させていきたいという意見もあった。
- ・その他の具体的な回答は別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。





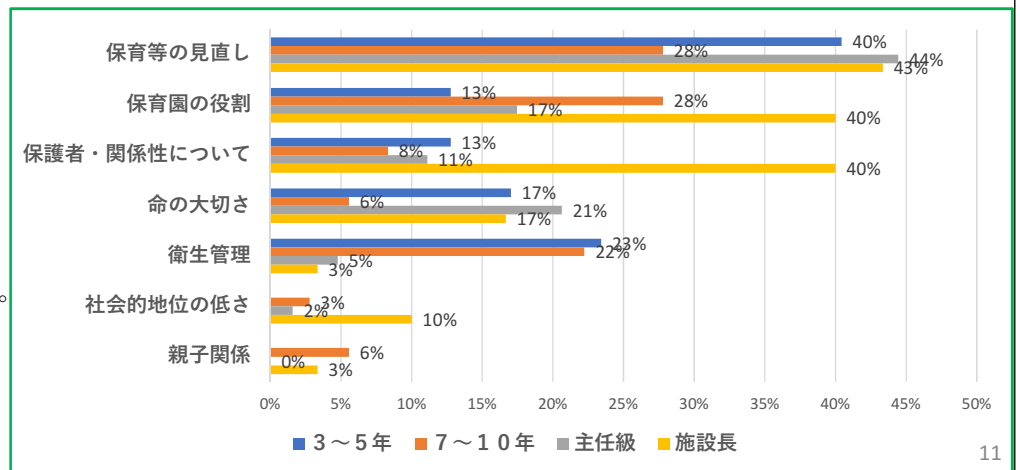
● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」

8. コロナ禍で再認識したこと、気づいたこと

- ・「保育等の見直し」「保育園の役割」という回答が多かった。
- ・「保育等の見直し」については、コロナ禍において、行事の中止や新しい生活様式のなかでの保育についての回答が多かった。
- ・「保育園の役割」では、「保育所は社会を支える大事な役割だと再認識した」「感染リスクの不安を抱えながら保育に取り組む使命感」などが挙げられた。
- ・一方で、「保育士の社会的地位は低いと再認識し、やりきれない思いがある」との回答もあった。

- ・その他の具体的な回答は別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



11

● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」

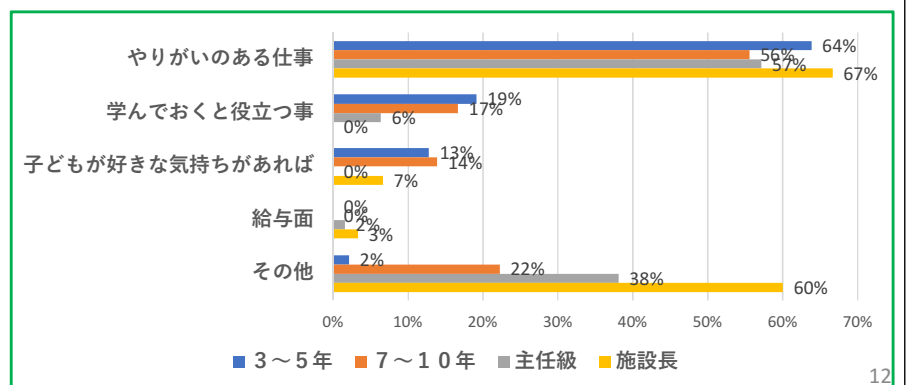


9. 保育士をめざす人たちに伝えたいこと

- ・「**やりがいのある仕事**」であるということが最も多かった。
- ・具体的な回答については、
「人の一生の最も大切な時に関わり、子どもの成長を保護者とともに見守り、喜べる仕事。**責任も重い**が、**その分喜びも多い仕事**」
「教科書通りにいかない現場だが、子どもや保護者が生きた教科書となり、**学ぶ機会を与え続けてくれる素晴らしい職業**」
「笑ったり泣いたり、毎日心揺さぶられる出来事に出会わない日はない。こんなに楽しく嬉しく悲しく、**生きている実感にあふれた仕事**はない」
などが挙げられた。

- ・そのほか、「**継続すると給与も休みも保障され、安定した職業**」との回答もあった。
- ・その他の具体的な回答は別添の通り。

※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。



12

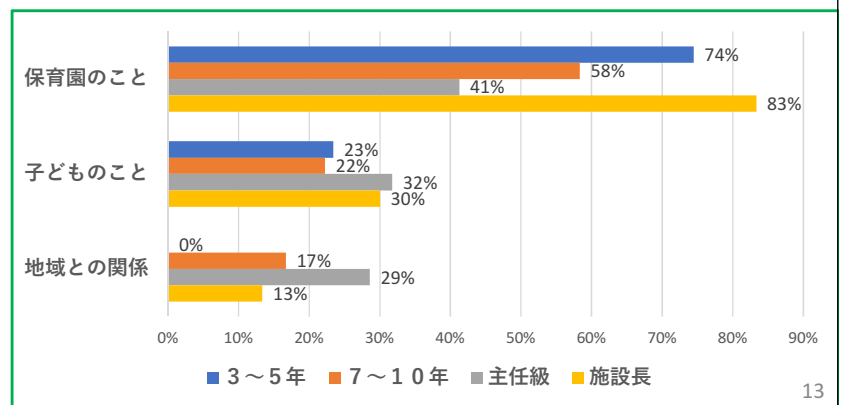
● 北九州市保育士会 調査「保育士のやりがいや魅力」



10. 地域社会や周囲の人に伝えたい保育の魅力

- ・「保育園のこと」が最も多かった。
- ・具体的な回答については、
「保育園はさまざまな年齢の人が集うひとつの社会であり、子どもたちは日々学び、大人も育つ場所」
「家庭でできないさまざまな経験ができるよう発達段階に合わせた保育が計画的に行われている」
「保育の『遊び』『生活』のなかに、生きる根っこがすべて詰まっている」
などが挙げられた。

- ・そのほか、「行事等への参加や子どもの様子を見て、発達、成長、子どもの力を感じてほしい」との回答もあった。
- ・その他の具体的な回答は別添の通り。



※複数回答のため、
回答数=回答者数とはならない。

2. 保育士がやりがいを持って、長く働き続けられるような保育所の取組例



● 保育士のやりがいを感じてもらうために

○ 保育士にやりがいを感じてもらうために

- ・保育士は日々子どもを通して感動の場面に出会っている。日常の保育のなかで感じる喜びを共感し、ともに語り合える仲間がいる土壌の醸成。
- ・また、新任保育士には、保育実践と子どもの行動の意味やつながりが分かるよう、保育理念や専門性の裏付けのある指導を実施。
- ・自身のキャリアアップの道筋を自覚できるよう、階層に応じた研修計画を策定。
- ・自身のキャリアアップのために今後どのような専門性を身につければよいか、どのような研修を受講すればよいか、保育士各自が自身の受講研修を記録。

○ 働く場としての環境づくり

- ・クラスの担任同士、園内の職員同士が今日の保育での感動や楽しさを何気なく、語り合える職場環境づくり。
- ・常に職員間の報告・連絡・相談を有効に機能させるような場の運営。
- ・研修を受けることのできる環境の整備（保育士の負担軽減）。
- ・あらゆる階層の研修で、コミュニケーションの円滑化を意識した内容を実施。

3. そうした保育所が増えるような、 地域も含めての本会の取り組み



● 事例集の作成

→全国保育士会として、2のような各地の取り組みを集めた事例集を作成予定。

● ブロック保育士会での情報共有

→年に2~3回、各ブロックにおいて保育士会会長会議を実施。全国保育士会より、共通協議題を示しており、共通協議題のなかに、保育の人材確保に触れ、ブロックにおいて情報共有を実施。

4. 本会の行っている保育の魅力の発信の取り組み



全国保育士会が行っている取り組み

● 保育内容や保育士の専門性の発信(DVDやポスターの作成)

→養護と教育が一体となった保育について、理解がすすむよう、保育所の1日の流れの映像をとおして解説したDVDを作成（約12分）。動画は全国保育士会ホームページでも公開し、保育所のほか、養成校等でも広く活用いただいている。

→保育士が「国家資格」になった11月29日の前後に掲出いただけるポスターを作成。各地でも写真を入れ替えて（自園の写真を入れるなど）活用いただけるようにデザインデータを公開。

→全国保育士会ホームページに「保育士の仕事について」のコンテンツを作成し、保育士の仕事内容、雇用の方、資格取得方法などの情報を発信。

DVDの内容

- 1 保育の目標
 - (1) 保育とは
 - (2) 園における養護
 - (3) 園における教育
- 2 園の1日
 - (1) 養護と教育が一体となった保育における5領域
 - ①健康 ②人間関係 ③環境 ④言葉 ⑤表現
 - (2) お迎え
 - (3) 地域の子育て支援
- 3 保護者の声



17

4. 本会の行っている保育の魅力の発信の取組



全国保育士会が行っている取り組み

● 会報誌を通じた発信

→会報誌「保育士会だより」（会員に配布、約19万部発行）令和2年5月号において、特集「だから保育はおもしろい」を企画し、主に新年度で入職や異動した職員に向けて、保育者をしていてよかったと感じる点を保育士等に執筆してもらい、保育の魅力を発信。



ホームページも見てね！ <https://www.z-hoikushikai.com/>

4. 本会の行っている保育の魅力の発信の取り組み



都道府県・指定都市保育士会、ブロック保育士会が行っている取り組み

● 市民に向けた保育の魅力の発信

→11月29日前後に、市民に向けて、駅前的大型ビジョンでの「遊びは学びである」など、保育のCMを流してアピールをしたり、チラシやクリアファイルを駅前で配布。

保育、保育士の日への理解促進のためDVDを作成し、YouTubeにて配信。

→保護者や市町の首長はじめ行政の保育担当者による1日保育体験、出前授業（小中高）、一般の人に対して、子どもの魅力についての講演や給食の試食会などを開催。

● 実習指導担当者研修の開催

→各園の「実習指導担当者」を決め、研修を実施。実習生を受け入れるにあたっての心がけや指導のコツ、保育士への意識共有などについて研修。

19

4. 本会の行っている保育の魅力の発信の取り組み



都道府県・指定都市保育士会、ブロック保育士会が行っている取り組み

● 実習力アップセミナーの開催

→実習前の養成校の学生を対象に、実習力アップセミナーを開催。学生に向け、不安に思うことなどを解消できるよう、失敗してもいい、失敗を怖がらないでほしいといったことなどを伝えている（昨年は約300名参加）。参加者からは実習に向けた見通しがついたとの声があった。
コロナ禍にある今年はyoutubeで配信。

● 実習養成校の実習担当者参加の研修の開催

→実習養成校の実習担当者は教える側ではあるものの、必ずしも現場を知っているわけではないため、現場を知ってもらうための研修を開催。養成校の先生たちの積極的な参加がある。

20

4. 本会の行っている保育の魅力の発信の取り組み



都道府県・指定都市保育士会、ブロック保育士会が行っている取り組み

● 就職セミナーの開催

→養成校の学生を対象に、就職セミナーを開催。実際に就職した際の福利厚生等の実情を伝えるとともに、処遇のことも伝えている。本来であれば、各養成校への訪問にて授業の一環として位置付けていただいているがコロナ禍のため、YouTube限定配信にて、園での仕事の実際、処遇、キャリアアップ、学生に質問への回答、処遇など、わかりやすく構成し、保育をめざす学生に対して夢と希望を持って学び続ける専門職としての就職につながるよう配慮している。

5. 厚労省等が保育の魅力を発信するに 当たって考えられる具体的なアイデア等



● 国をあげたポジティブキャンペーンの展開内容

→「養護」と「教育」が一体となった保育の正しい理解と、保育の「やりがい」や「楽しさ」にフォーカスをあてて、一般に広く宣伝・周知する。

● 「保育の日」の創設

→例えば、保育士が国家資格となった11月29日（平成15年）を「保育の日」と定め、保育について理解と認識を深め、保育従事者、保育所を利用する子ども・保護者を支援するとともに、それらを取り巻く地域社会における支えあいや交流を促進する日とする。



保育士会では、スカンポの花をイメージ化し、「根強く手つなぎをして子どもたちのしあわせを守りましょう」との願いをこめて、シンボルマークとしています。また、シンボルマークのピンバッジも作成しています。

全国保育士会

ともに語り、ともに学び、 ともに子どもの育ちを支えましょう

～全国保育士会とは～

全国保育士会は、1956（昭和31）年に「子どもたちの真の幸福を守るために保母（現保育士*等）は手をつなぎ、たちあがろう!」という呼びかけに賛同した人たちの手によってつくられました。現在、会員約18万6千人の保育士を中心とした組織として、保育の質の向上をはかり、保育士の専門性の確立をめざしています。

※1999年の児童福祉法施行令施行により「保育士」に名称変更

全国保育士会倫理綱領（前文）

すべての子どもは、豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく無限の可能性を持っています。

私たちは、子どもが現在（いま）を幸せに生活し、未来（あす）を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもって、自らの人間性と専門性の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

私たちは、子どもの育ちを支えます。

私たちは、保護者の子育てを支えます。

私たちは、子どもと子育てにやさしい社会をつくりまします。

全国保育士会倫理綱領は「子どもの最善の利益の尊重」など全8条から構成されています。詳しくは「全国保育士会倫理綱領ガイドブック」をご参考ください。



～会員の皆さまには～

●保育士会だより

機関誌「保育士会だより」（年6回発行）をお送りします。最新の制度動向や保育者としてのスキルアップをめざす特集等、保育に役立つ情報をお届けします。



●感謝状の贈呈

保育士等として長年勤められた方に感謝の意を表し、全国保育士会会長より感謝状を贈呈します。

●会員専用ページ（ホームページ）

会員専用ページで、保育や子育ての制度動向、本会が発信する最新情報を得ることができます。

●学会での発表の支援

学会にて研究発表をされた方に対し助成支援します。

●研修会

全国保育士会では、より質の高い保育実践に必要な知識・技術の向上を目的として研修会を開催しています。会員の皆さまは会員料金で受講することができます。

研修会の一例

- 全国保育士会研究大会
- 全国保育士研修会
- 主任保育士・主幹保育教諭特別講座*
- 食育推進研修会
- 「保育スーパーバイザー」養成研修会

*主任保育士・主幹保育教諭特別講座とは

保育所・認定こども園の中核を担う主任保育士・主幹保育教諭の専門性の向上を目的に、年2回の集中講義やレポートによる学びに加え、ゼミに所属し、学識者の指導のもと実践研究に取り組みます。ゼミでの演習では全国の受講生と意見交換を行い、研究を深めます。

※保育士会は、各都道府県・指定都市、さらには市区町村や郡に組織されています。各地域の保育士会にご加入いただくことで、全国保育士会の会員となります。都道府県・指定都市保育士会の会費のうち、会員おひとりにつき年600円が全国保育士会の会費となり、全国保育士会の活動のために使われます。

▶ 詳しくは、お住まいの都道府県・指定都市保育士会までお問い合わせください。

都道府県・指定都市保育士会一覧表

<http://www.z-hoikushikai.com/about/donnna/jimukyoku.html>

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国保育協議会
全国保育士会

いちごちゃん



全国保育士会
会長
村松 幹子

全国保育士会は、「全国保育士会倫理綱領」の理念のもと、「子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支え、子どもと子育てにやさしい社会をつくる」ことを目的に活動しています。会員の皆さまが専門職としての誇りと責任をもって、保育の質および自らの専門性の向上をはかることができるよう、さまざまな事業を実施しています。

主な活動として、保育士・保育教諭のキャリアアップ体制の確立や専門性向上のための研修の実施、制度改革等への対応、養護と教育が一体となった保育に対する保護者・地域社会からの理解促進に向けた発信等に取り組んでいます。また、スカンポ募金を通じて被災地の会員や保育士会への支援も行っています。

これらの取り組みは、全国の保育士・保育教諭等が集い、その力を結集できているからこそ実現できるものです。ぜひこれからも全国保育士会の活動にさらなるご理解をいただき「子ども主体の保育」の質の向上を一緒にめざしていきましょう。

～全国保育士会事業の4つの柱～

いちごちゃん

1 子どもが豊かに育つ、より質の高い保育の実現のための取り組み

- ① 保育の質の向上の取り組み推進
- ② 実践研究の推進、支援
- ③ 地域子育て支援・保護者の養育力向上

2 専門性の向上を実現するための環境構築の取り組み

- ① 保育制度改革等への対応
- ② 保育士・保育教諭の人材確保、育成、定着
- ③ ①、②の取り組みを支える、全国保育士会の組織強化と都道府県・指定都市保育士会への事業支援

3 養護と教育が一体となった保育に対する保護者・地域社会からの理解促進のための取り組み

- ① 保護者や地域への発信の取り組み
- ② 保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続推進の取り組み
- ③ 関係機関への発信と理解促進の取り組み

4 災害被災地保育士の支援

- ① 被災地の保育士および保育士会支援の取り組み
- ② 大規模自然災害の発生への備え

（まなも）
発行物

・養護と教育が一体となった保育の言語化
(平成28年6月作成)



・子どもの育ちの連続性を確保するために
～保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続をめざして～
(平成30年11月作成)



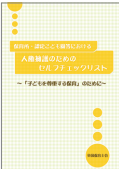
・自園調理の優位性を発信するためのパンフレット
「食べることは生きること」
(平成28年作成、平成29年一部改訂)



・医療的ケアを必要とする子どもの保育実践事例集
(令和元年5月作成)



・保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト
～「子どもを尊重する保育」のために～
(平成29年3月作成、平成30年4月一部改訂)



・保育を高める実践研究の手引き
(平成25年3月作成、平成29年9月一部改訂)



ホームページでは、上記の発行物のほか、「東日本大震災被災地における子どもの育ち事例集」や「保育士・保育教諭として、子どもの貧困問題を考える」などの発行物がダウンロードできます。また、保育士が日ごろ保護者等からよく受ける子育ての相談や育児についての悩みを保育士の知識・経験を活かしてこたえる「保育士がこたえる子育てQ&A」もご覧いただけます。

<http://www.z-hoikushikai.com>



◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

実施主体 北九州市保育士会

調査名 「保育士のやりがいや魅力」

調査方法 北九州市保育士会の常任委員および各区の役員に依頼し、各園の保育士に回答を依頼。
10項目の質問に対して記述式での回答。

調査対象 「経験年数3～5年程度の保育士」「経験年数7～10年程度の保育士」
「主任保育士」「施設長」

調査人数 計176名

（内訳）「経験年数3～5年程度の保育士」：47名

「経験年数7～10年程度の保育士」：36名

「主任保育士保育士」：63名

「施設長」：30名

調査期間 令和2年6月25日（木）～6月30日（火）

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

1 保育士になって良かったと感じたこと

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|---|-----|-----|-------|------|
| 子どもの成長を感じられること | 7 | 31 | 19 | 30 |
| 沢山の子どもの出会え、自分でも気づかなかった気持ちや感動・癒し・元気をもらえること | 8 | | 4 | 3 |
| 子どもたちが「先生、大好き」と言ってくれること 信頼関係が築けたと感じたこと | | 2 | 3 | 5 |
| 毎日、大好きな子どもと関われること | 4 | 5 | | |
| 子どもや保護者の笑顔に毎日心が動かされ、自然との関わりも持て人生が豊かになったこと | 3 | | | |
| 子どもが保護者に「今日 楽しかった」と話していたこと | | | 3 | |
| 卒園後も子どもと繋がり、いつまでも成長が見られること | 1 | 1 | | |
| 自分が立てた保育計画に子どもが喜んで参加し楽しんでたこと | | | | 2 |
| 子どもに「先生みたいな保育士になりたい」と言ってもらえた時 | | | | 2 |
| 子どもと共に保育士として成長できること | 2 | 17 | 3 | 6 |
| 将来を担う子どもの根っこを育てる時期を担い、やりがいを感じられること | 4 | 7 | | 3 |
| 行事など達成感ややりがいを感じられること | | | 5 | |
| 収入が安定しており、生活設計が立てやすいこと | 4 | | | |
| 自分の育児の勉強になった | | 3 | | 1 |
| 子どもがかわいく、自分自身も笑顔で仕事が出来ていること | | | | 4 |
| 社会的信頼が得られ、また、社会に貢献していると自負できること | 1 | | | |
| 共に学び続ける仲間をもてたこと | 1 | | | |
| 毎日笑顔で過ごせること | 1 | | | |
| 季節を感じるができる | | 1 | | |
| 天職だと思えるようになったこと | | 1 | | |
| 同じ毎日、同じ年がないこと | | | 1 | |
| 世界中どこに住んでも子どもがいて資格があるため、仕事ができ馴染めたこと | | | 1 | |
| 保護者の悩みを知ることで、子育ての大変さを実感した | | | | 1 |
| 保護者から感謝・信頼されたこと | 6 | | | 2 |
| 子ども・保護者と喜びを共有できること | 3 | 1 | | |
| 卒園児や保護者から感謝・信頼されたこと | | | 2 | |
| 保護者からの子育て相談を受けること | 1 | | | |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

2 大変な事・困っている事

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|--|-----|-----|-------|------|
| 様々な家庭環境や保護者、子どもたちがいる中で、個々を十分受け入れて寄り添いながら日々保育や保護者支援にあたること | | 29 | | 7 |
| 気になる子ども、支援が必要な子どもが増えてきている現状 支援の複雑化 | | 2 | 7 | 4 |
| 世代も変わり、自身の幼少期とは違う感覚を持つ子どもたちや保護者への対応 | 10 | | | |
| 自分のアイデア、引き出しが少ない | | | | 4 |
| 時代のニーズに合わせた柔軟な対応 | | 3 | | |
| 子どもの体力や判断力、思考力の低下 | | 1 | 1 | |
| 子どもの気持ちに寄り添っているつもりでも理解不足で出来ていないことがある | | | | 2 |
| 保育は奥深く学んでも学びきれないこと | 1 | | 1 | |
| 子どものケガに気を付けること | | 1 | | |
| 書類も含め、仕事の量が多く、残業があること | | 7 | 12 | 13 |
| 職員間の意思疎通・職員育成をし、それぞれの良さを生かした保育 | 8 | 14 | | 3 |
| 人間関係 | | | | 4 |
| コロナ対策で密にならない保育の工夫 | 5 | 4 | 2 | 3 |
| 感染症の予防・対処 | 6 | | | |
| コロナ禍で保護者と話をする時間が取りにくいので、信頼関係の構築、共に子育てをしている意識をもつことができるか不安 | | 3 | | |
| コロナのように、これまで経験したことがないことが起こるかもしれないという不安 | 1 | 1 | | |
| コロナ禍 行事の中止 | | 1 | | 1 |
| 感染症対策のための資金不足 | 1 | | | |
| 保護者との信頼関係構築 | | | 7 | |
| 保育士確保・育成 | 4 | 2 | | |
| 時差勤務中の保育士の配置 | | 1 | | |
| 自身の体力 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 家庭と仕事の両立 | 2 | 1 | 1 | |
| 苦労も自身の成長に必要な糧だと感じている 日々勉強 | | 2 | | |
| 国家資格なのに、教師との格差が大きいこと 遊んでいるだけと思われていること | | 1 | | 1 |
| 制度の変更が多く、それも良い方向とは思えないが、大変・困ったと思ったことはない | 1 | | | |
| 活動の流れ、職員配置等臨機応変にすすめていくこと | | | | 1 |
| 月齢に合わせた保育の進め方、個々の対応 | | | | 1 |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

3 迷っている事

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|---|-----|-----|-------|------|
| 新しい生活様式を取り入れた保育・行事のあり方 | 16 | 18 | | |
| コロナウイルス感染予防の為、行事、活動の制限など折り合いの付け方 | | | 2 | 1 |
| 職員間のチームワーク クラス運営 | | 18 | 1 | 3 |
| 後輩の指導 押し付けにならないように培ったスキルをどう伝えていくか | | 9 | | 1 |
| 成長環境や価値観が異なる若い保育士たちをどう育てていくか | 5 | | | |
| 自分の思いをどのように相手に伝えたら良いか | | | 1 | |
| 子どもへの関わり方 言葉掛けや関わりが正しいのかわからない | | 1 | 6 | 7 |
| 子どもの思いと保護者の思い、社会情勢とを総合的に見ながら選択すること | 2 | | | |
| 日々の保育一つ一つ | | | | 2 |
| 登園人数が増え細かな配慮ができにくくなっている | | 1 | | |
| 自由保育の取り組み方 | | | 1 | |
| 園での自分の役割 力不足なのでは 自信がなくなる時がある | | 9 | | |
| 今の社会や保護者が求める保育所の在り方に戸惑い・違和感を感じる。保育士の専門性の社会的認知度をあげ、保育上正当な要求などは請求できるようにもしていきたいが、そのためにどうしたらよいか | 2 | | | |
| 子育て支援と保護者支援の在り方。親に子育ての機会をどう返せるか | 5 | | | |
| 保護者対応 | | | 2 | |
| 自身の体力の低下（続けていけるか、担任をもてるか） | | 5 | | |
| 家庭と仕事の両立。どちらを優先させるか、家庭を犠牲にしていないか | 2 | | 2 | |
| 退職するか否か | 1 | | | 5 |
| 認定こども園にするか、保育園のまましているか | 1 | | | |
| ブレない自分になるため毎日試行錯誤している | | 1 | | |
| 自身の子育て | | | 1 | |
| 家庭との両立 | | | | 1 |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

4 嬉しかったことや喜びを感じる事

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|---|-----|-----|-------|------|
| 子どもたちの頑張っている姿、成長した姿を見られたこと | 7 | 30 | 16 | 20 |
| 子どもたちが「先生、大好き」と言ってくれること | 2 | | 8 | 10 |
| 自分が立てた保育計画に、子どもが喜んで参加し、楽しんでいたこと | | 5 | 2 | 6 |
| 子どもが自分に対して心を開いてくれたこと | | 6 | 1 | 2 |
| 家でも自分の話をしていると聞いたとき | | | | 5 |
| 子どもたちと作り上げる過程や達成感を共有できること | | 3 | 1 | |
| 子どもが友だちに優しい言葉をかけている姿を見た時 | | 2 | 1 | 1 |
| 子どもたちが集中して楽しそうに遊んでいる姿を見られること | 2 | | | |
| 子どもならではの発想や表現に触れたこと | 1 | | | |
| 「大きくなったら保育所の先生になる」と言ってくれたこと | 1 | | | |
| 登園自粛後、園に子どもたちの元気な姿が戻ってきたこと | 1 | | | |
| 保育や活動が想像以上に子どもたちの意欲や喜びになったこと | 1 | | | |
| 人間形成の大切な乳幼児期の子どもと過ごせること | 1 | | | |
| よく遊び、よく食べ、気持ちよく睡眠していく子どもをみること | | | | 1 |
| 世界で何番目かの好きな人になれること | | | | 1 |
| 同じ志の仲間と喜びや感動を分かち合えること 後輩が保育を楽しむ姿 | 4 | 2 | | |
| 保護者から感謝の言葉をいただいたこと | 2 | 15 | 3 | 1 |
| 保護者と子どもの成長を共有できたこと | | | 4 | |
| 保護者が少しずつ心を開いてきて、相談してきたこと | 3 | | | |
| 子育てに不安があった保護者が、保育所で過ごす間に親として成長していく姿が見られること | 2 | | | |
| 園全体での取り組みがうまくいったことや、難しいことに挑戦して良い方向に進んだこと | 4 | | | |
| 職員の成長が感じられ、クラスが成長していること | 2 | | | |
| 自分が保育の中で大事にしていることや取り組んできたことが実を結び子どもたちの姿として様々な形で現れ、少しでも良い影響を与えられたと感じた時 | | 2 | | |
| 自分なりの目標や挑戦に成果が見えたり、目標達成できたこと | 1 | | | |
| 自分の子どもに「お母さんの仕事は優しさがつまっている、いい仕事だね」と言われたこと | | 1 | | |
| 卒園しても、会いに来てくれたり手紙をくれたりすること | 2 | | 1 | 1 |
| 先輩保育士から褒められたとき | | | | 4 |
| 卒園児が自園を選んで入職し、共に働いていけること | 3 | | | |
| 地域の方から温かい言葉をかけていただいたこと | 1 | | | |
| 卒園児が親になり子どもを再び預けに来てくれること | 1 | 5 | | |
| 親子の絆が感じられたこと | 1 | | | |
| 街中などで卒園児やその保護者から声を掛けられたとき | | 1 | | |
| たくさん子どもたちや保護者と出会えたこと | | 1 | | |
| 遊びがどんどんつながって子どもたちが楽しみながら遊びのアイデアを出しているとき | | 1 | | |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

5 頑張っている事

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|--|-----|-----|-------|------|
| 子ども・保護者・職員との信頼関係の構築 | 4 | 6 | 10 | 6 |
| クラス運営 | | 2 | 11 | 9 |
| 手作り玩具作り | | | 4 | 5 |
| 子どもが主体的、意欲的に活動でき、安心できる保育環境づくり | | | | 7 |
| 子どもの思いを読み取り、寄り添った保育 | | 5 | | |
| ピアノ | | | | 5 |
| 一人一人への丁寧な関わり | | | | 4 |
| 子どもが安心して楽しく過ごせる環境や遊びを考え工夫すること | | | 2 | 1 |
| 子どもたちや保護者を笑顔にできる日々の積み重ね | 2 | | | |
| 気になる子どもや支援が必要な子どもへの対応 | | 1 | | 1 |
| 先輩の保育で学べるところを吸収し自分なりにアレンジすること | | | | 2 |
| クラスの整理整頓 | | | | 1 |
| 絵本を通しての保育の取り組み | | | | 1 |
| 若手から中堅へと変化していく自覚をもつこと | | | | 1 |
| 保育発信の為に、動画制作の構成・撮影・編集ができるようになること | 1 | | | |
| 仕事や勉強（研究） | 1 | | | |
| zoom会議など今までできなかったのがなかったので日々勉強中 | 1 | | | |
| 言葉掛けの工夫 | | | 1 | |
| 保育の基本を守りながら、子どもの特性や保護者の思いとのバランスを取って方針を立てること | | | 1 | |
| 書類をためないこと | | | 1 | |
| 臨機応変に対応できるようになること | | | 1 | |
| 自分の思いを伝える努力 | | | | 1 |
| スキル向上として本を読み知識を増やす | | | | 1 |
| 感情のコントロール | | | | 1 |
| おたより作成 | | | | 1 |
| 意欲的に働ける職場環境づくり | 8 | 17 | | |
| 職員育成 | 3 | 13 | | |
| 保育所全体の環境・保育見直し | 6 | 5 | | |
| 職員の心身の健康管理 | 2 | | | |
| 保護者と職員の情報交換やコミュニケーション | 1 | | | |
| コロナ・感染症対策 | 4 | 3 | 1 | |
| 新しい生活様式の中で、子どもの成長や発達を保障する保育の準備や検討・実践 | 3 | 3 | 1 | |
| コロナの影響 子どもの生活リズムを整えたり保育園に慣れるよう遊びに誘う | | | | 3 |
| 中止になった行事が多い分、子どもたちがどきどきわくわくするような楽しい環境づくりを考えている | | 2 | | |
| 仕事と家庭の両立 | | 2 | | |
| 体調管理 | 4 | 10 | 3 | |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

6 元気に働くために心がけている事

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|------------------------------------|-----|-----|-------|------|
| 趣味の時間を作る | 11 | 13 | 6 | 20 |
| お風呂でゆったりリフレッシュ | 2 | 3 | | 2 |
| マッサージに行く | 2 | | 2 | |
| 買い物 | 1 | | | 2 |
| 自然の中で遊ぶことを楽しみ、温泉でリフレッシュ | 2 | | | |
| 語学学習 | | | 1 | |
| 睡眠 | 4 | 7 | 8 | 13 |
| 美味しい食事 | 5 | 6 | 3 | 6 |
| 規則正しい生活 | 1 | | | |
| 自分の体調を考慮しながら年休など適宜取得している | | 1 | | |
| 体を動かすことでリフレッシュ | 2 | 2 | | 3 |
| 仕事とプライベートの切り替えを心掛ける | 4 | 10 | 7 | 6 |
| 残業をしない | | | | 1 |
| 家族とたくさん笑って過ごす | 1 | 5 | | 3 |
| 友人、同僚とのコミュニケーション | | 2 | 4 | 2 |
| 笑顔を意識 | 2 | 2 | 2 | |
| くよくよしない | 2 | | | |
| 些細なことに感動する・興味を持つ | 2 | | | |
| 一日の終わりに感謝の気持ちと朝元気に目覚められるよう願って睡眠に入る | | 2 | | |
| その日の仕事はその日のうちに | | 1 | | |
| 目標を達成したら休みの日にご褒美を | | 1 | | |
| 元気な挨拶をする | | | | 1 |
| 子どもが好きなので、保育園に来ると元気になる | 1 | | | |
| 仕事の愚痴は園長先生に聞いてもらいストレス解消 | | 1 | | |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

7 5年後、10年後、どんな保育士なっていたい？

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|-------------------------------------|-----|-----|-------|------|
| 信頼される保育士 | 2 | 17 | 10 | 26 |
| 子ども、保護者、職員と共感したり気持ちに寄り添える保育士 | | 8 | 10 | |
| どの年齢でも自信を持って落ち着いて保育が出来るようになりたい | | | 1 | 12 |
| 広い視野を持って柔軟に対応できる保育士 | | 9 | | 2 |
| 今の立場でのスキルを身につけ、元気に仕事ができるよう心掛けたい | 6 | | | 1 |
| 子どもも大人も笑顔でいられる環境を保てる保育士 | | 7 | | |
| 保護者・保育士の思いに寄り添い、アドバイスできる保育士 | 1 | 2 | 2 | 1 |
| 保護者・同僚が気軽に相談できる保育士 | 4 | | | |
| 好奇心、探求心を持ち続けていたい | 1 | 3 | | |
| 保育の魅力や専門性をアピールできる保育士 | 1 | 2 | | |
| 現役を続けて経験を後輩に伝え、信頼される保育士へ育成 | 2 | | | |
| 一人一人の子どもに合わせた援助、必要なことを判断し行動できる | | | | 2 |
| 心理や療育の勉強をして、専門的な知識を身につけたい | 1 | | | |
| 今以上に子どもの気持ちに寄り添い、一人一人の思いを大切に出来る保育士 | 1 | | | |
| 自分の得意な所を活かせる保育士 | | | 1 | |
| 子どもにとって最善の援助が出来る保育士 | | | 1 | |
| 子どもたちが自分で考え、発言していけるような伸び伸びとした保育をしたい | | | 1 | |
| 皆が楽しく働ける職場環境作りを心掛け続けていたい | | | 1 | |
| あそびをもっと覚えたい | | | | 1 |
| 子どもと一緒に元気に遊び、楽しんで過ごせる保育士 | 4 | 11 | 12 | 1 |
| 子どもと楽しんで過ごせる、子どもが好きな保育士のままでいたい | | | | 4 |
| 心身共に健康で、周囲の人を明るい気持ちにできる保育士 | 1 | | | |
| 私のできることで地域貢献したい | 2 | 2 | | |
| 人の意見を聞くだけでなく自分の意見もしっかり言えるようになりたい | | 1 | | |
| 過信しすぎず、常に立ち止まって振り返り考えられる保育士 | | 1 | | |
| 引退していると思う | 4 | | | |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

8 今回のような状況で、再認識した事・気付いた事

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|---|-----|-----|-------|------|
| 衛生管理の大切さと、もし自分が陽性だったことを想定して行動しなければならない事 | 1 | 3 | 8 | 11 |
| 職員間の情報共有、連携の大切さ | 2 | 10 | 1 | 9 |
| (行事は中止になってしまったが) 子どもたちと関わることの楽しさ、ゆったりと関わる大切さ | | 8 | 6 | 7 |
| 状況に合わせて工夫していくことの大切さ | | 4 | | 1 |
| 子どもたちの安全安心な居場所である保育園づくり・環境確認 | 2 | | 1 | |
| 行事の大切さ | | 2 | | |
| リスクと価値を検討していく必要性 | 1 | | | 1 |
| 1日1日を大切にし、子どもたちの園生活における成長を保証すること | 1 | | | 1 |
| 丁寧な保育を心掛けているが、一人一人に配慮した関わり方、丁寧な説明の仕方について、考えさせられる良い機会となった | 1 | | | |
| 園の関係者から陽性患者などが発生しても慌てずに対応する心の準備、善後策の対応の仕方を他機関の対応の仕方を見て、リスク、コミュニケーションの仕方を再認識 | 1 | | | |
| 会議をすべてZoomにしたので、かえって一人一人の表情がよく見え、発言も活発になり、会議の在り方を改革できた | 1 | | | |
| 会議や園内研修のオンライン化に挑戦し、改めて様々な状況に柔軟に対応できる力が不可欠 | 1 | | | |
| 慣例的にしていた会議や行事の必要性を考え直すきっかけに | 1 | | | |
| 職員の保証 | 1 | | | |
| 保育指針を見直すと新しい生活様式の中での保育のヒントがあること、一人一人を大切にする保育を改めて考えた | 1 | | | |
| 記録をしっかり残すことの大切さ | | 1 | | |
| 少人数保育の大切さ | | 1 | | |
| 安全に生活するために行う作業が多く、人手不足 | | | 1 | |
| 正確な情報を知ることの重要性 | | 2 | 1 | |
| 保育所は社会を支える大事な役割だと再認識した | 6 | 6 | 5 | 1 |
| 衛生面や遊びなど工夫しても、三密回避は厳しく、保育は触れ合っこそ成り立つこと | 3 | 5 | 4 | 5 |
| 感染リスクの不安を抱えながら保育に取り組む使命感 | 2 | | 1 | |
| 保育士がエッセンシャルワーカーであること | 1 | | | |
| 保護者とのコミュニケーションの大切さ | 1 | 2 | 2 | 4 |
| 保護者の意識・温度差 | 1 | 3 | | 2 |
| 協力要請で多くの方が家庭保育が出来たこと | 3 | | 1 | |
| コロナ禍でも登園しなければならない子どもへの複雑な想い | 1 | 1 | | |
| 保護者は、周りの人が登園するかしないかを非常に気にする。登園者が多ければ登園させ、少なければ休ませる | 1 | | | |
| 保護者も保育の主体となっていなければ、今回のような状況で理解し一緒に乗り越えるこ | 1 | | | |
| 保護者の育児不安の大きさ（家庭保育要請中に悩みをたくさん聞いたので、今後の子育て支援に繋げていきたい） | 1 | | | |
| 子育て応援がない会社で働いている保護者がいる現実 | | 1 | | |
| 命の大切さ | | 2 | 2 | 5 |
| 日常の大切さ・有難さ | 5 | 11 | | 3 |
| 保育士の社会的地位は低いと再認識しやりきれない思いがある | 3 | 1 | 1 | |
| 家庭保育を行うことで、気持ちが満たされた子どもが多く、親子の関わり方の大切さを再確認できた | 1 | | 2 | |
| 乳幼児の感染が少ないこと、職員の体力・精神力の強さに驚いた | 1 | | | |
| 陽性者を被告人扱いする風潮があり、どんな事からも差別が起こること | 1 | | | |
| 体調管理の大切さ | | | 1 | |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

9 保育士を目指す人たちに伝えたいこと

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|---|-----|-----|-------|------|
| 人の一生の最も大切な時に関わり、子どもの成長を保護者と共に見守り喜べる仕事。責任も重いがその分喜びも多い仕事 | 3 | 10 | | 28 |
| 人と関わる仕事なので、難しさや上手くいかない事もあると思うが、沢山の出会いの中で得られる感動ややりがいも大きい職業 | 8 | | 20 | |
| 人間相手の仕事なのでつらい思いをすることもあるが子どもたちが全力で生きている姿にたくさんの笑顔や元気がもらえる | | 15 | | |
| 子どもと共に成長できること。子どもの笑顔がエネルギーになる、いい仕事 | 4 | 5 | | |
| 保育士は子どもにとって“特別な存在”になれるやりがいのある仕事 | | 5 | | |
| デジタル化が進む世の中で、人を育てる仕事は人間的でいられる職業だと思う | 2 | | | |
| 子どもにとって保育所は第二の家といっても過言ではない。その中で育っていく子どもたちの成長に関わりながら小さな幸せに気付ける素敵な職業 | | | | 2 |
| 子どもをかわいいと思える時とそうでない時がある。また、一人の時と集団の時とも違い | 1 | | | |
| 教科書通りにいかない現場だが、子どもや保護者が生きた教科書となり学ぶ機会を与え続けてくださる素晴らしい職業 | | 1 | | |
| 普段の生活・好きな事全てが仕事につながる楽しい仕事 | 1 | | | |
| 笑ったり泣いたり、毎日心揺さぶられる出来事に出会わない日はない。こんなに楽しく嬉しく悲しく、生きている実感にあふれた仕事はない | 1 | | | |
| 子どもが好きであればつらいことがあっても頑張ることができる | 2 | | 5 | 4 |
| 1～2年めは不安もあるが、3年～自信が付き楽しい | | | | 2 |
| 継続すると給与も休みもそれなりに保障され、将来もなくなることはない安定した職業 | 1 | 1 | | |
| 学生のうちにいろいろな経験をして自分の強みを見つけ、引き出しを増やしておくの良い | | 3 | 6 | 9 |
| 保育は体力勝負！健康的な生活を送りましょう | | 1 | | |
| 子どもと関わる中で、子どもの面白さや素晴らしさをたくさん発見してほしい | 2 | 7 | 5 | |
| 夢と挑戦したいという気持ちを大切に保育士になってほしい | | 8 | | |
| 好奇心を持って積極的に取り組んでほしい | 4 | | | |
| 困った時など職員皆で協力し合い連帯感を感じながら仕事ができる | 2 | 2 | | |
| 保護者支援も重要で、様々なスキルが必要。やりがいもあるが、そこに至るまでに様々な思いや葛藤があり、「子どもが大好き」だけでは務まらないこともある | 2 | | | |
| 未来の子どもたちを託されていることに誇りと自信をもってほしい | | 2 | | |
| 子どもと遊ぶだけが仕事と思われがちだが、計画のもと保育を行っている | | 2 | | |
| 保育士は協調性、判断力、企画力、実行力、体力、忍耐力などたくさんの能力が求められる | | 2 | | |
| 自分が親になった時に役立つことがたくさんある | | | 2 | |
| 自分自身を好きである事が大切 | 1 | | | |
| 「この先輩の保育好きだな」と思える人に出会えることを願う | 1 | | | |
| 子どものために働くことを喜びと感じられる人になってほしい | 1 | | | |
| 自分になりたい保育士像をしっかりと見つ | 1 | | | |
| 子どもが生まれて初めて関わる先生になることを意識して色々な事を学んで欲しい | 1 | | | |
| まず、自分が笑顔で楽しんで欲しい | 1 | | | |
| コミュニケーション能力を身につけて欲しい | 1 | | | |
| 自分の経験することを丁寧に感じたり自分の感情を表現したりしてほしい | 1 | | | |
| 無理せず、自分を大切にしながら自信を持って子どもに関わってほしい | | 1 | | |
| 保育士になろうと思った自分の原点を心が帰る場所として持っておく | | | 1 | |
| SNSやネット情報で保育職の嫌な点、苦い点ばかりに目を向けるのではなく、実際に出向いて（実習等）自分の保育観と園の方針をきちんと考えたり見比べてほしい | | | | 1 |

◆北九州市保育士会調査「保育士のやりがいや魅力」記述回答一覧

10 地域社会や周囲の人に伝えたい保育の魅力

| | 施設長 | 主任級 | 7～10年 | 3～5年 |
|---|-----|-----|-------|------|
| 子どもたちの笑顔・発想の豊かさに、笑顔・元気をもらえる | 4 | 13 | 8 | 9 |
| 子どもは宝。子どもあってこそ私たちの地域や日本の未来がある | 5 | 7 | | 2 |
| 子どもの成長を保護者と一緒に見られる喜びがある | | | 10 | 16 |
| 保育園は様々な年齢の人が集う一つの社会であり、子どもたちは日々学び、大人も育つ場所 | 7 | 9 | 1 | 3 |
| 保護者の就労のために、保護者を支えながら、子どもも安心して預けられる場所 | 3 | 6 | | |
| 子どもの養育・教育に携わるやりがいのある仕事 | 7 | | | |
| 家庭で出来ない様々な経験ができるよう発達段階に合わせた保育が計画的に行われている | 1 | 3 | 1 | 2 |
| 子どもと遊ぶだけが仕事ではなく、大きな意義ある仕事だということ | | 3 | | 3 |
| 子どもも持っているパワーや大人にはない発想を引き出す保育の魅力 | | | | 6 |
| 大変さが吹き飛ぶほどの、子どもの笑顔・感動・感謝の言葉に包まれている | 3 | | | 2 |
| 保育の中の遊び、生活の中に生きる根っこがすべて詰まっている | | 1 | 4 | |
| 保育所は地域の子育て支援をしている | | | 4 | |
| 子どもの魅力は無限！大変な事も多いが、子どもとの関わりは自身を成長させてくれる素敵な仕事 | | 2 | 1 | |
| 保育・保護者支援に、自身の経験や知識を役立てられることが喜び | 2 | | | |
| 子どものいとおしさを感じられる仕事 | | | | 2 |
| 「明日またね」と目を輝かせる子ども。「子どもの笑顔に励まされる」と安心して仕事を頑張る保護者。「保育の仕事が面白い」と張り切る職員。「この地に保育園があってよかった」と地域に喜ばれる、そんな皆で手をつなぎ、子どもを真ん中にして共に育ちあえるのが、保育園の魅力 | 1 | | | |
| 様々な家庭背景のある中で、保育所は子どもにとって平等で安心安全な場所であり、人との関わりが楽しいと感じられる場所 | 1 | | | |
| 大人になっても子ども時代を再び体験できること | | 1 | | |
| 人間は面白い。可能性の塊の子どもたちはその中でも群を抜いて面白い。それに関われる保育は百面相するくらい楽しい。 | | 1 | | |
| 子どもはもちろん保護者・地域・職員間でも子どもを中心に常に笑顔に囲まれているのが保育だと思う | | | | 1 |
| 行事等への参加や子どもの様子を見て発達、成長、子どもの力を感じて頂きたい | | 18 | | |
| 地域や学校などとも連携をとり、子どもたちの出来ることや頑張る姿を伝えたい | | | 6 | |
| 子育て家庭が地域社会とつながり、子どもを皆で育てる世の中になってほしい | 2 | | | |
| 今を受け継ぎ地域の将来を支える次世代に投資し、もっと子どもと子育てにお金と労力を使ってほしい | 2 | | | |